# 平成１９年度

# ＪＡＢＢＡ公認コーチ養成講習会　　開催要項

１．目　的

日本バスケットボール協会では、世界に通じるナショナルチームの育成と、バスケットボール競技の普及･発展のために、「指導者ライセンス制度」の確立を目指している。そこで最も重要なことは、バスケットボールを愛する子供達のために、指導者が変わらなければならないということである。つまり、選手の育成に日々尽力されている指導者に、世界に通用する選手の育成をも視野に入れた広いビジョンで指導していただきたい。そのためには、ミニバスをはじめる幼いころからの正しい基本（ファンダメンタル）の指導と、発育･発達段階に応じた一貫指導が必要である。また、コーチ登録規定に基づき、公認コーチの養成を目的とする。

２．主　催　　沖縄県バスケットボール協会

３．主　管　　沖縄県バスケットボール協会　指導者育成委員会

４．養成科目（ＪＡＢＢＡ公認コーチ）

下記の日本体協公認バスケットボール指導員養成専門科目カリキュラムを中心に本県独自に編成する。

（１）基礎理論　　８時間

（２）実技講習　　２４時間

（３）指導実習　　８時間　　合計４０時間（うち１０時間通信科目で代替可能）

| 区分 | カリキュラム内容 | 時間数 | |
|---|---|---|---|
| | | 集合 | その他 |
| 基礎理論<br>８ｈ | ①　バスケットボールの概論<br>バスケットボールの特性（指導者の役割、歴史、国内外の動向を含む） | ２ｈ | うち２時間は通信教育で代替可能 |
| | ②バスケットボールのトレーニング(フィジカルトレーニングの種類と原則) | ２ｈ | |
| | ③バスケットボールのコンディショニング<br>コンディショニングの基礎（安全対策、傷害予防、救急処置含む） | ２ｈ | |
| | ④バスケットボールのルールと審判法 | ２ｈ | |
| 実技<br>２４ｈ | ①バスケットボールのフィジカルトレーニングの実際 | ２ｈ | うち６時間は通信教育で代替可能 |
| | ②ファンダメンタル①（基本姿勢と構え、フットワーク、ハンドワーク） | ２ｈ | |
| | ③ファンダメンタル②（ボールハンドリング、リバウンドとルーズボール） | ２ｈ | |
| | ④ファンダメンタル③（シューティング） | ２ｈ | |
| | ⑤ファンダメンタル④（ドリブル） | ２ｈ | |
| | ⑥ファンダメンタル⑤（パスとレシーブ） | ２ｈ | |
| | ⑦個人（１体１）の技術と戦術 | ２ｈ | |
| | ⑧コンビネーションプレイの技術と戦術 | ２ｈ | |
| | ⑨ファストブレークの技術と戦術 | ２ｈ | |
| | ⑩チームオフェンスの技術と戦術 | ２ｈ | |
| | ⑪チームディフェンスの技術と戦術 | ２ｈ | |
| 指導実習<br>８ｈ | ①個人技術・戦術の指導法と練習法 | ２ｈ | うち２時間は通信 |
| | ②コンビネーションプレイの指導法と練習法 | ２ｈ | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ③ファストブレイクの指導法と練習法 | ２ｈ | 教育で代替可能 |
| | ④チームオフェンス＆ディフェンスの指導法と練習法 | ２ｈ | |
| 合　　計 | | ４０ｈ | 最大１０ｈ |

５．講習会日程

①８月２５日～２６日（９：００～１８：００）２日間

②１０月６日～　７日（９：００～１８：００）２日間　　計　４日間

６．受講対象者

①受講する年の４月１日現在、満２０歳以上の者で、競技団体が定める条件。

②学校・地域においてスポーツ活動を実施しているクラブやグループ、スポーツ教室で実際的指導にあたっている指導者及びこれから指導者になろうとする者。以上、日本体育協会公認指導員規定に準ずる。

７．検定・審査

「基礎理論」・「実技」・「指導実習」において一定の成績を上げた者を合格と判断します。

８．認定及び登録

専門科目の検定に合格した者を、公認コーチとして登録の手続きをする。完了した者を、ＪＡＢＢＡ公認コーチとして「登録証」を日本バスケットボール協会より交付する。なお、資格の有効期限は２年間とし、２年ごとに更新する。

９．経　費

①専門科目　　１４，７００円

②登録料（２年間　　１０，０００円）合格者のみ

１０．その他

受講者において、諸事情により受講できない場合は、事前に下記の担当者まで報告すること。

※原則、４日間すべてを受講しなくてはならない。（資格を取得できない事があります。）

１１．申し込み

※　申し込みは、下記の連盟の担当者までお願いします。募集者が多い場合は、人数の調整を行う事がありますので、ご容赦下さい。

※　申し込み期限は、７月末日とします。

【担当者】

・ミニ連担当・・・脇田武史　（北玉小学校　）

・中体連担当・・・宮里友昭　（沖縄東中学校）

・高体連担当・・・嘉陽宗紀　（小禄高等学校）

・ク　ラ　ブ・・・稲嶺啓美　（ＢＣスポーツ）

・沖縄県バスケットボール協会

指導者育成委員会

委員長　　角田俊成　　小禄高等学校　ＴＥＬ８５７－０４８１

# 「通信教育」の内容

通信教育とはバスケットボール指導教本に基づき指定された内容について自宅学習する事である。

**※　通信教育（自宅学習）を実施する場合の区分別指定内容は以下の通りである。**

１．基礎理論区分（８時間のうち２時間）
（３）バスケットボールのコンディショニング・２ｈ
指導教本：Ｐ３００～Ｐ３２１

２．実技区分（２４時間のうち６時間）
（１）バスケットボールのフィジカルトレーニングの実際・２ｈ
指導教本：Ｐ２７６～Ｐ２９７（各自実習含む）
（２）ファンダメンタル①（基本姿勢と構え、フットワーク、ハンドワーク）・２ｈ
指導教本：Ｐ３４～Ｐ５６（各自実習含む）
（３）ファンダメンタル②（ボールハンドリング、リバウンドとルーズボール）・２ｈ
指導教本：Ｐ５７～Ｐ６２、Ｐ９６～Ｐ１０２（各自実習含む）

３．指導実習区分（８時間のうち２時間）
（１）個人技術・戦術の指導法と練習法の一部・２ｈ
指導教本：Ｐ１０４～Ｐ１１２（各自実習含む）